

令和7年度 武豊小学校 教育活動アンケートの集計結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申しあげます。日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、12月に行った学校教育活動アンケート（保護者）について集計したものを次ページ以降にまとめましたので、ご報告いたします。

このアンケートは、学校の教育活動を「児童の姿」を通して見直すことを目的に、以下の10項目の観点からお答えいただきました。ご協力ありがとうございました。結果を今後の教育活動の参考に活用させていただきます。

◆◆◆ アンケートの項目 ◆◆◆

- 1 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。
- 2 「読み・書き・計算」を中心に基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。
- 3 自分で家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。
- 4 挨拶・返事・はき物そろえなど、基本的な生活習慣が身に付いている。
- 5 思いやりの心が育っている。
- 6 級友と良好な関係を築いている。
- 7 食の大切さを意識し、好き嫌いなく残さず食べるようにしている。
- 8 体育の授業や放課時の運動、外遊びなどを通して、進んで体力を高めている。
- 9 地域行事に関心をもち、関わろうとしている。
- 10 学校は、子どもの成長のために、家庭や地域の方と協力して取り組んでいる。



本年度の重点努力目標

武豊町の教育方針を受け、地域の担い手を育む学校

知	徳	体
○学び、考え、生かす児童 ○関わり合いを通じて課題を解決できる児童 ☆仲間とともに学ぶための学習規律や習慣を確立する ☆相手の話をよく聞き、自分の考えを形成する ☆学ぶ必然性をもち、興味・関心をもって学習に取り組む	○基本的な生活習慣が身に付いた児童 ○なかよく助け合える児童 ☆挨拶、返事、はきものそろえを習慣として身に付ける ☆他者を思いやり、相手のことを考えた言動をする ☆生活をよくするために自ら考え、判断し、行動する	○自ら鍛え、心身ともに健康な生活を送る児童 ○安全に気を付ける児童 ☆かけがえのない自他の命の大切さを理解する ☆健康的に生活するための望ましい食生活を考える ☆体を動かすことが楽しい・好きと感じ、運動に親しむ

重点努力目標を達成するためのキーワード

いのちの教育
授業力向上

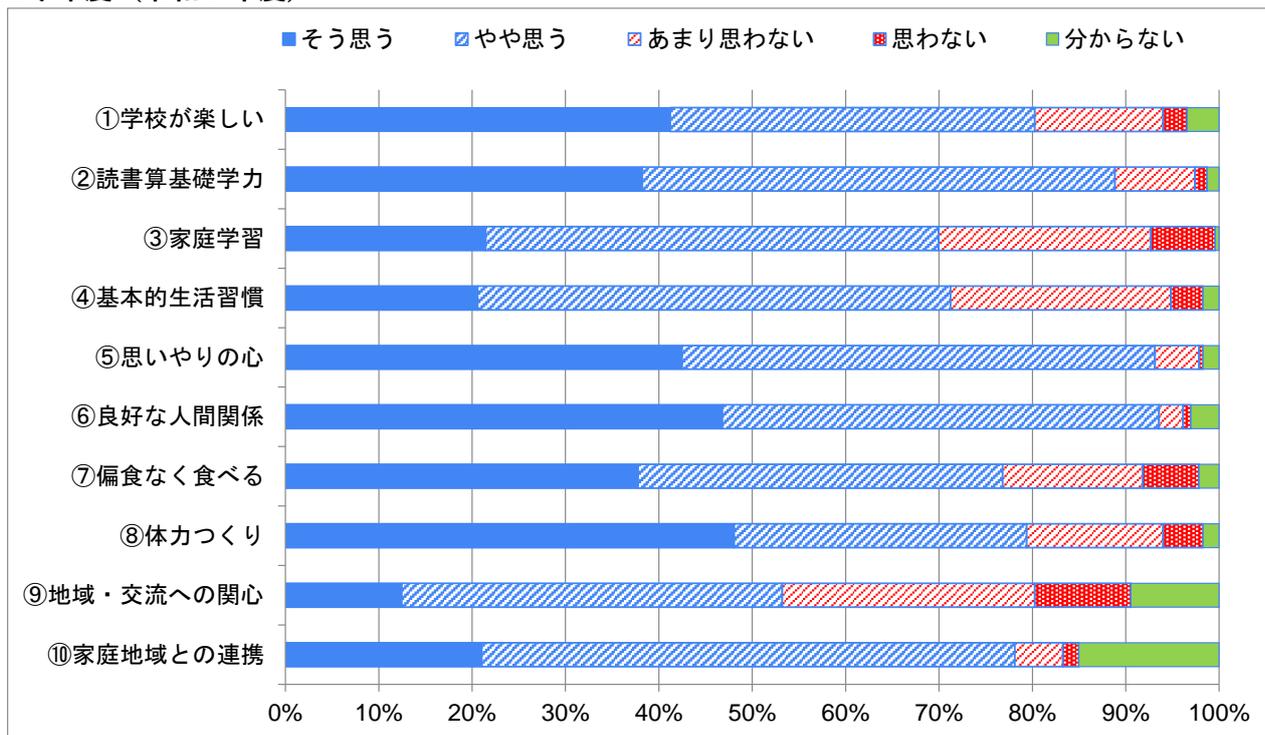
特別支援教育の専門性
働き方改革

自己肯定感の向上
コミュニティ・スクール

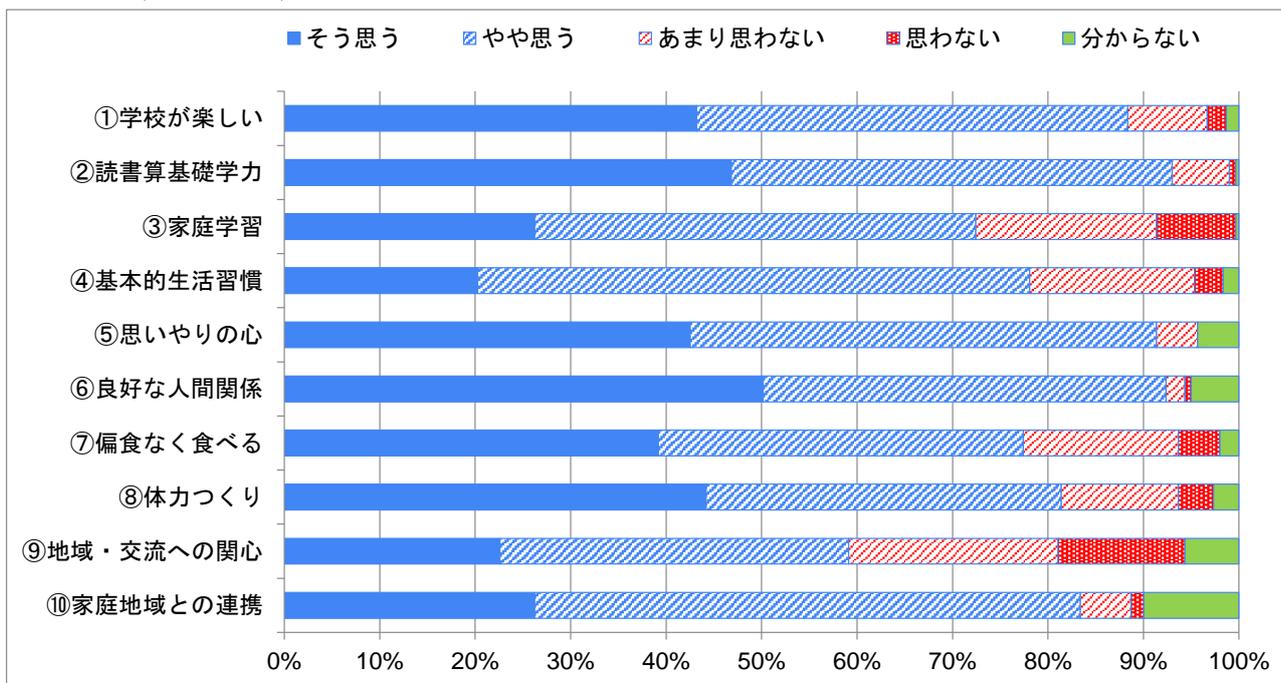
アンケート結果に見る児童の姿

～保護者の視点から見た子どもの姿を昨年度と比較しました～

■今年度（令和7年度）



■昨年度（令和6年度）



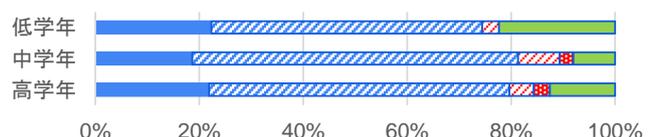
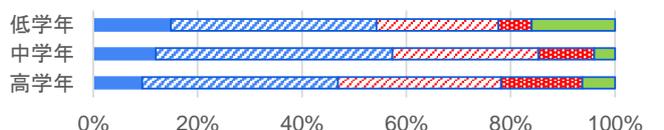
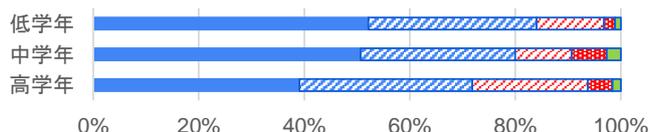
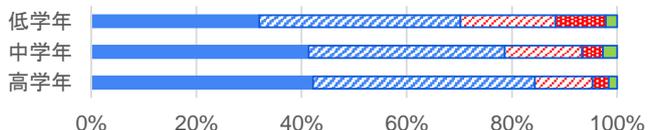
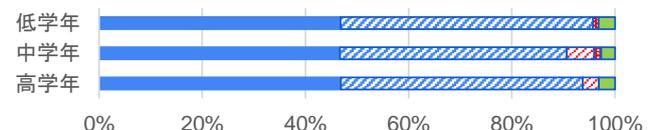
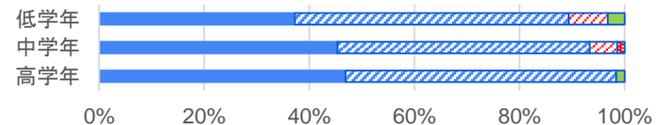
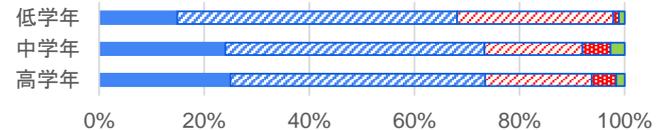
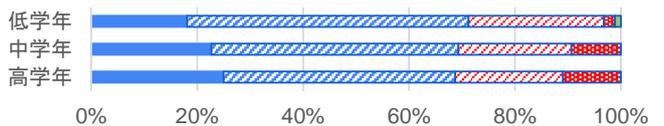
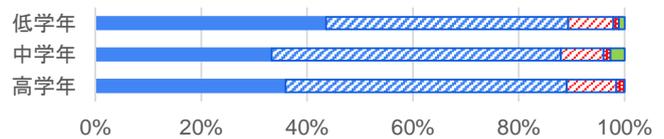
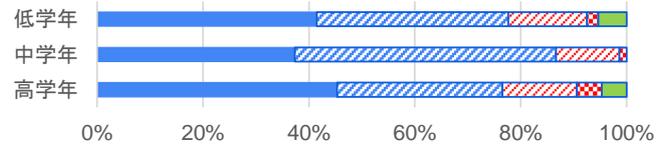
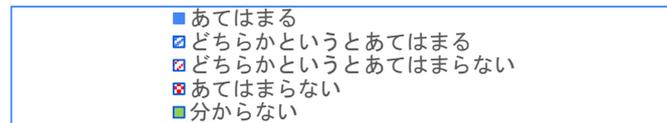
○ 昨年度と同様に「②基礎的・基本的な学習内容が身に付いている」「⑤思いやりの心が育っている」「⑥級友と良好な関係を築いている」に対する肯定的な回答が90%以上でした。

● 昨年度と比べて「①子どもは、学校に行くのを楽しみにしている」「挨拶・返事・はき物そろえなど、基本的な生活習慣が身に付いている」の肯定的な回答の割合がやや下がっています。

項目別・年代別に見る児童の姿

★ 低・中・高学年ごとに、保護者アンケートの回答を比較し、児童の姿を捉えてみました。

- 1 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。**
 中学年では肯定的な回答の割合が80%以上でした。次年度に肯定的な回答の割合が増えるように試行錯誤していきます。
- 2 基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。**
 どの学年でも、肯定的な回答の割合が約90%となっています。引き続き電子黒板を活用した視覚的に分かりやすい授業が効果的だったと考えられます。
- 3 家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。**
 どの学年も肯定的な回答の割合は約70%でした。学習習慣が身に付くように根気よく指導していきます。
- 4 基本的な生活習慣が身に付いている。**
 どの学年も肯定的な回答の割合は約70%でした。週のめあてにして短期目標として設定したり、引き続き委員会で全校的な取組を行ったりして意識向上に努めます。
- 5 思いやりの心が育っている。**
 学年が上がるにつれて高くなっています。学校で集団生活を送る中で経験を積み重ね、思いやりの心が育まれてきています。
- 6 級友と良好な関係を築いている。**
 どの学年も肯定的な回答の割合が90%以上でした。設問5と同様に、集団生活を送る中で経験を積み重ねたことで、級友との関わり方を学んでいるものと思われます。
- 7 食の大切さを意識し、好き嫌いなく残さず食べる。**
 学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が高くなっています。子どもたちは日頃から食の大切さについて学び、苦手な食べ物に対して少しでも食べてみようという前向きにとらえている子が多いからだと思えます。
- 8 運動・遊びなどで進んで体力を高めている。**
 肯定的な回答の割合は学年が上がるにつれて低くなっています。高学年になると、自分自身にあった放課の過ごし方を選択しているものと思われます。
- 9 地域行事に関心をもち、関わろうとしている。**
 全体的に肯定的な回答の割合は50%～60%くらいでした。授業で地域に関わる学習をしているので、それをきっかけに少しでも増えていくとよいです。
- 10 学校は、子どもの成長のために、家庭や地域の方と協力して取り組んでいる。**
 低学年、高学年では「分からない」の回答も多いです。学校とやりとりする場面があまりなかったからだと考えます。子どもたちの学校生活において、保護者・地域の協力、後押し の存在は大きいと思っています。



ま と め

知 学び、考え、生かす児童 関わり合いを通じて課題を解決できる児童

「『読み・書き・計算』を中心に基礎的・基本的な学習内容が身に付いている」の質問に対する肯定的な回答の割合は約90%でした。同様のアンケートを児童、職員にとったところ、基礎的・基本的な学習内容が身に付いていると考えている児童は約80%、職員は約70%とそれぞれの立場で割合が異なりました。分かりやすい授業を行うために電子黒板をはじめとした有効的なICT機器の活用し、考えを深めるために「聞く」姿勢、態度を大切にして、基礎的・基本的な学習内容の定着に努めていきます。



学習する児童の様子

徳 基本的な生活習慣が身に付いた児童 なかよく助け合える児童

「挨拶、返事、はき物そろえなど、基本的な生活習慣が身に付いている」の質問に対する肯定的な回答の割合は70%でした。学校では総務委員会と地域の方で年に2回、あいさつ運動を実施したときには、笑顔で元気よく挨拶する姿が見られました。「挨拶、返事、はき物そろえ」を学校、学年、学級で今後も取り組んでいきます。

保健委員会は「思いやりの心を伝えようキャンペーン」を企画しました。子どもたちは、ありがとうの気持ち伝えたい人へのメッセージカードを何枚も書き、保健室前の黒板がメッセージカードでいっぱいになりました。



児童会活動「あいさつ運動」

体 自ら鍛え、心身ともに健康な生活を送る児童 安全に気を付ける児童

「体育の授業や放課時の運動、外遊びなどを通して、進んで体力を高めている」の質問に対する肯定的な回答の割合は80%弱でした。天気の良い日には、季節を問わず運動場で元気よく遊んでいるたくさんの子どもの姿を見ます。また、寒い時期には「なわとび週間」や「外で遊ぼうウィーク」など体育委員会が企画し、実施しました。この取組のときにはいつも以上に運動場で子どもたちや担任の先生が活動していました。今後もけがに気を付けて元気よく遊ぶ子どもたちが増えていくとよいです。



体育委員会での取組「外で遊ぼうウィーク」

ご協力ありがとうございました。

